やさしい未来を育てよう。

Let's nurture a friendly future

法人案内

社会福祉法人
宮原ハーモニー

法人理念

やさしい未来を育てよう。

10年後。20年後。この子たちは、
どんな大人になっているんだろう。
毎日子どもたちを見つめながら、
私たちはそんなことを考えています。

自分の意志を持ち、自ら未来を切り拓ける。
人を思いやり、支えることができる。
世の中に、そんな人を増やしたい。

だからこそ私たちは
ひとりの個性を伸ばしながら、
みんなで育ち合える保育で、

人が人を思いやれる
「やさしい未来」を育てていきます。

ごあいさつ

当法人、宮原ハーモニーは平成13年に設立、
同年本園であるハーモニー保育園が開園しました。

以来、多くの皆様に支えられて現在は、
さいたま市で4園の認可保育園と1つの学童保育を運営しております。

本園であるハーモニー保育園は
「保育室ハーモニー」という小さな家庭保育室でした。

当時から行っていた
「子どもたちが子どもらしくその子らしく過ごせる保育」
が現在の法人理念、保育方針、保育目標の基本となっています。

各園では「つながる保育」を保育方針に、「じりつと協力」を保育目標とし、
①異年齢保育 ②チーム保育 ③選択制の保育 ④みんなでつくる行事
を基本とした保育所保育指針、子どもの権利条約に基づいた
保育を行っています。

保育園は、子どもたちの「自分らしさ」と
生きていくうえで必要な「主体性」や「関わる力」を育む場所です。

その子らしく自分らしく育った子どもたちが大人になった時に
様々な人と関わり、考え、創る社会は優劣をつけたり競い合うのではなく
違いを認め合い違いを強みにし共に支え合う
「やさしい社会」であって欲しい。

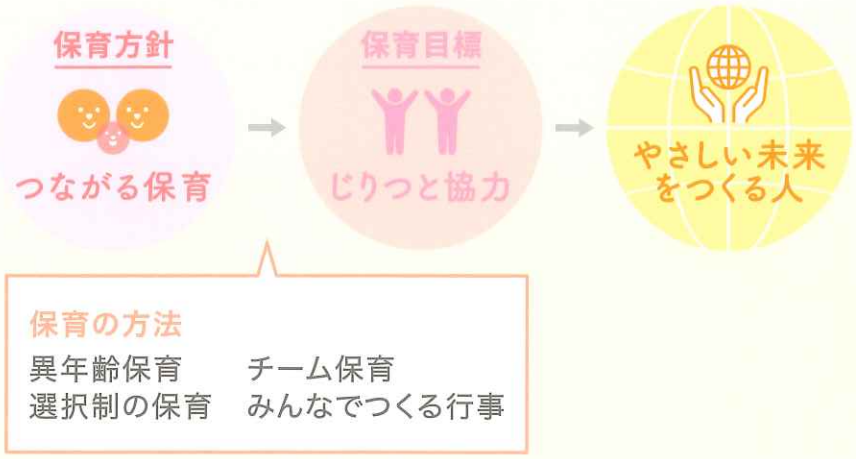
子どもたちが生きていく未来は
一人ひとりが尊重され大切にされる「やさしい未来」であって欲しい。

それが私たちの願いであり
私たちが目指す未来です。

やさしい未来を育てるために
1日1日を大切にし感謝の気持ちを忘れずに
法人運営、各園の運営に努めてまいります。

社会福祉法人 宮原ハーモニー
理事長 島村 和宏

やさしい未来のつくりかた



「やさしい未来」とは、**「自分もしあわせ。みんなもしあわせ。」**な未来です。
私たちは全ての人が尊重され、お互いの違いを強みにして支え合う社会を、
保育を通じて目指します。

「自分で考えずに他者のせいにする人」や「自分さえ良ければよい。今さえ良ければよい」
と考える人が増えていると言われる現代。

他者や環境のせいにせず「自分の意思を持ち、自ら未来を切り拓ける」子ども
相手の立場に立って「人を思いやり、支えることができる」子ども

そんな子どもが増えれば、
彼らが大人になった時「やさしい未来」が実現するのではないでしょうか。
「やさしい未来をつくる人」には、将来大人になる子どもたちだけではなく、
私たち大人も含まれます。

・自分のことも、みんなのことも大切にできる人
・自分だけではなく、みんなにとってどうかを考え、行動できる人
・今だけではなく未来も考えられる人

やさしさとは、相手の言うことをなんでも受け入れることではありません。
相手のことを思うからこそ、時には言いにくいことを伝えることも必要です。
思いやりと勇気を持ち、相手の可能性を信じ、対話を続ける「強さ」
を持った人が本当のやさしい人だと思います。

「やさしい未来をつくる人」とは、**「自分とみんなのしあわせ」**を考え生きていく人。
つまり自分を含めた全てを愛し、みんなで生きることを大切にする人のことです。

保育方針

つながる保育

人とのつながり

少子化や核家族化が進むなか、家庭や地域で人とつながることが難しくなっています。
しかし、「やさしい未来」をつくるためには、人とのつながりが不可欠です。
子どもたち、大人、地域の皆さん。様々な人がつながり、お互いの違いを活かし、
支え合いながら、共に成長できる環境をつくっていきます。

経験・モノとのつながり

現代社会では物質的な豊かさが増している反面、家庭や地域でできる経験が
限られてきています。
忙しい日常を離れ、たくさんのモノに触れながら、保育園でしかできない豊かな
経験ができる環境をつくっていきます。

地球と未来とのつながり

自分、人、モノとのつながりに感謝できるようになれば、やがて地球や未来との
つながりも大切にできる大人になると信じています。

保育目標

じりつと協力

つながる保育の目標は子どもたちの「じりつ」と「協力する力」を育むことです。

「じりつ」は「自立」と「自律」のことであり
自分のことは自分でできる。自分で考え、自分で決める。
ということと
自分一人でできないことは人に頼れる。助けを求めることができる。
という2つのことを表しています。

人は一人で生きていくことはできません。
頼り頼られ、支え支えられながら生きています。

「自分もしあわせ。みんなもしあわせ。」なやさしい未来をつくることができるのは
みんなを支え、みんなに支えられる人です。

保育の方法

宮原ハーモニーではつながる保育を実現する具体的な方法として、4つの保育の方法を取り入れています。

異年齢保育

日々兄弟姉妹のように

宮原ハーモニーでは0～1才、3～5才を中心とした全年齢による異年齢保育を行っています。
乳幼児期から様々な人と関わる機会は子どもの育ちをより豊かなものにします。

一例として
・思いやりの気持ち、援助の気持ち、寛容さが育つ
・年下の子どもにとって近くにいる年上の子どもの存在は真似をする対象となり刺激を受ける
・年上の子にとっては年下の子の手本になることで自信をつけたり教えてあげることで自分の能力を定着させることができる
などが挙げられます。

近年子どもたちの「コミュニケーション能力の低下」や「社会性の育ち」が十分でない事が問題視されていて、その一因として乳幼児期からの子ども同士の関わる機会が減っている事が挙げられています。
子ども社会が自然に発生する保育園では、子どもたちには兄弟姉妹のように過ごしてもらいながら「子ども同士が関わる機会」を大切にして「子どもと子どもをつなげたい」と考えています。

チーム保育

全職員が全園児を

宮原ハーモニーでは「担任」にこだわらない保育を行っています。
それは子どもたちの園生活が異年齢を基本としている為、職員は全ての子どもの事を見守る必要があるからです。

チーム保育を行うメリットの一例として
・子どもたちが担任の先生以外の先生とも関わることができる
・子どもの姿を担任一人の目だけではなく複数の職員の目で見ることでたくさんの良いところを見つけてあげられる
といった点があげられます。

苦手な点は補い合いながら、得意なことや強みを活かし合い職員同士助け合いながら保育を行えることもチーム保育の良い点です。
園では家族のように過ごして欲しいと考えていますので「全職員が全園児を」を合言葉に「みんなでみんなを見る保育」「担任・担当制保育」ではなく「担任」にこだわらない「複数職員によるチーム保育」を行います。

選択制の保育

自分で考え、自分で選ぶ

宮原ハーモニーでは保育の中で子ども自ら「選択」できる場面や「選択」できる
遊びの環境（コーナー保育、ゾーニング保育）を用意しています。

コーナー、ゾーニングの保育は
・子どもが自ら選択する
・子どもが自ら手に取れる　事を基本としています。

好きなもので遊び込む事が一番のねらいですが、子どもたちには遊びを通じて
「自由」と「責任」についても学んで欲しいと考えています。
子どもたちに考えさせず、全てを一斉に行う保育が問題視されています。
自ら選び、決断する力は日常の小さな選択から育まれます。
日々の選択の積み重ねが、自ら決断し、責任を持つことができる大人への第一歩です。
子どもたちには、「自分だけでなく、周囲の人にとってどうか」を考え、選ぶことを通じて、
他人との関係をうまく築く人になってほしいと思っています。

※選択制であることを理由にして、子どもたちの経験の偏りを招いたり、呼びかけを怠った任せ過ぎの放任保育になったりしないよう十分配慮し、気をつけています。
※年齢、発達に応じて、選択肢が多くなり過ぎないように配慮しています。

みんなでつくる行事

競争ではなく共創へ

宮原ハーモニーでは、園の行事も子どもたちの興味、関心、好きなことを
テーマにした「子どもが主体」の内容にしています。

従来型の一斉的な大人主導の行事は「行事の練習だけで遊びが発展しない」
「練習を嫌がる子どもがいる」「うまくできない子は登園したくなくなる」等の問題点が
挙げられています。

園の行事は子どもたちのためのものであり、
子どもたちが楽しめるものでなければなりません。

「保育士が全て決めて行うのではなく、普段の遊びの延長の表現ができるようにする」
「子どもたちが行事に向けて話し合う」
といった点を大切にしながら企画、準備、当日の運営も子どもたちと一緒に行います。

子どもたちと話し合いながらつくる行事は時間もかかり、大変なことも多いですが
子どもたちにとっては貴重な経験となり、何よりの思い出になると思っています。

参考：「子どもを中心に保育の実践を考える～保育所保育指針に基づく保育の質の向上に向けた実践事例集」

沿革

平成13年	3月	社会福祉法人 宮原ハーモニー　設立
	4月	ハーモニー保育園　開園（認可保育所 定員45名）
24年	4月	えがお保育園　開園（認可保育所 定員90名）
25年	4月	学童保育スマイルクラブ（放課後児童健全育成事業）運営開始
28年	4月	あい音保育園　開園（認可保育所 定員90名）
令和 3年	4月	えがお三橋保育園　開園（認可保育所 定員100名）

ハーモニー保育園 設立当時

概要

名称	社会福祉法人 宮原ハーモニー
設立認可年月日	平成13年3月9日
代表者	島村　和宏
法人本部	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-39-16
連絡先	TEL　048-783-2480（えがお三橋保育園） FAX　048-783-2481
実施事業 運営施設	認可保育所（ハーモニー保育園、えがお保育園、あい音保育園、えがお三橋保育園） 子育て支援センター ままぽっぽ 学童保育スマイルクラブ
職員数	117名（令和7年5月1日現在）

えがお保育園

子育て支援センター ままぽっぽ

※えがお保育園内

学童保育 スマイルクラブ

あい音保育園

ハーモニー保育園

ハーモニーMAP

えがお三橋保育園

©OpenStreetMap